

■日 時

令和7年1月30日（木）13時00分～13時30分

■場 所

議会特別会議室（大）

■出席者

吉村大阪府知事、横山大阪市長（オンライン）、永藤堺市長

■内 容

1 開会

2 議題

2027年国際園芸博覧会共同出展協議会の設立について【事務局から資料2を説明】

- ・国際園芸博覧会の概要
- ・共同出展協議会設置要綱（案）

⇒特に意見無し。事務局（案）承認

3 報告【事務局から資料3を報告】

- ・出展コンセプトの考え方（案）
- ・今後のスケジュール

⇒出席者からの意見は以下のとおり

【出席者の主な発言】

（吉村知事）

- ・出展する庭園が、多くの来場者の皆様に、大阪へのみどりのシンパシーを感じていただけるものとなるよう、3者で連携して取り組んでいきたい。
- ・みどりというテーマで、大阪が園芸博覧会で果たすべき役割は大きい。
- ・大阪・関西万博のレガシーとして、2025年の万博で生まれたものを、2027年の園芸博覧会でもみどりの分野で表現していきたい。万博の現地に行き、いろいろな国がどうしているのか、2025年の万博のインスピレーションなどを踏まえた上で、我々が目指す方向性などを表現してもらいたい。

（横山大阪市長）

- ・国際園芸博覧会で、花の万博や今回の大阪・関西万博のテーマや想いを未来につないでいくバトンとして、しっかりとその役割を担っていきたい。
- ・横浜と連携してPR・機運醸成にもつなげていけたらと思う。
- ・デジタルとみどりの融合で未来社会を感じる、そのような取組を検討してほしい。

（永藤堺市長）

- ・園芸博覧会への出展は、大阪の歴史や文化、自然の価値を表現し大阪の都市魅力をこれまで以上に効果的に発信できる絶好の機会。
- ・これらの分野において、世界遺産の百舌鳥・古市古墳群や堺で生まれた千利休が大成した茶の湯をはじめ、堺市が担える役割は大きいと考えている。
- ・G7大阪・堺貿易大臣会合の歓迎レセプションのオープニング映像では、大阪の現在・歴史・未来を示し会合出席者や国際的な映像コンペ等で海外から高い評価をいただいた。今回の出展コンセプトでも、大阪の都市魅力に奥深さを与えるために大阪の独特かつ貴重な歴史が脈々と現在、未来につながるストーリーを示すことが効果的だと考えている。

4 閉会